

# 6月

みんなくウィークエンド・サロン

## 研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！  
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、  
話題や内容は実に多彩。  
どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

2日

(日曜日)

話者：杉本星子（京都文教大学 教授）

話題：【特別展関連】シルクの島マダガスカル

会場：本館展示場（ナビひろば）

9日

(日曜日)

話者：菊澤律子（国立民族学博物館 准教授）

話題：【特別展関連】太平洋からきたマダガスカルのことば

会場：本館展示場（ナビひろば）

16日

(日曜日)

話者：広瀬浩二郎（国立民族学博物館 准教授）

話題：【新日本の文化展示関連】

瞽女文化と現代——盲目の旅芸人の実像

会場：本館展示場（ナビひろば）

23日

(日曜日)

話者：日高真吾（国立民族学博物館 准教授）

話題：【新日本の文化展示関連】

日本の文化展示場「日々の暮らし」を考える

会場：本館展示場（日本の文化展示）

### 1年間みんなくは何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいです。

特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引

◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引

◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。

(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

### 編集後記

幸い私はアレルギーもないし、食制限がかせられるような健康問題も今のところない。口にするものに関して規律の厳しい宗教を信仰しているわけでもないの、基本的に食べられない食べ物はなし、遅くまで研究室に残って仕事を片付けている時以外は、ひもじい思いをしたこともない。

だが、偽装表示、放射能汚染、工業汚染、殺虫剤、遺伝子組み換え、狂牛病、病原体、寄生虫……、食の安全を脅かす現代のリスクを考え始めたら、くいしんぼうの食欲も萎えてしまう。食べ物の生産と流通はますます複雑になり、どう育てられたのか、どこから、誰の手をわたって来たのかわからないという不透明さが不安をあおる。

折しもヨーロッパ諸国は今、加工食品への馬肉混入問題で揺れている。馬肉ならフランス人も日本人も食べるし、毒になるわけでないの、何をそんなに大騒ぎをと思いきや、競走馬に使用する消炎剤が検出され、それが人体には有害らしい。

確かに有害薬品は困るが、私は午年なので、知らないあいだに「共食い」もいやだ。(山中由里子)

●表紙：冥紙（食材セット） 標本番号：H0269067

地域：アメリカ

中国系の人がとが、死者や先祖の冥福を祈るために、火葬やお墓参りの際などに焼く。中華料理でよく食べられる、焼き物の盛り合わせを模したものだ。

### 次号の予告

特集

## アマゾンの生き物文化(仮)

月刊みんなく 2013年6月号

第37巻第6号通巻第429号 2013年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂

編集委員 山中由里子（編集長） 榎永真佐夫 久保正敏

庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志

編集アドバイザー 山内直樹

デザイン 宮谷一孝

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 日本写真印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

### 交通案内

●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分

●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）

●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

